

まちのみんなの安全を守る! 「ひのすけ」の火災予防啓発活動

遠くからでも目を引く赤い頭にねじりはち巻き、法被を着た姿がトレードマークの「ひのすけ」。江戸時代の勇敢な町火消しとワンパクな男の子をイメージし、1995年に安芸高田消防署(当時は高田郡消防組合)のオリジナルキャラクターとして誕生しました。市民の安全・安心を守るため、消防イベントや避難訓練に積極的に参加し、消防職員と共に火災予防の大切さを伝えています。今回は、「ひのすけ」の日常を皆さんにお見せします!

ひのすけ プロフィール

誕生日:11月8日
出身地:安芸高田消防署
好きな言葉:ひのようじん
仕事内容:火災予防PR



まねしてみよう! ひのすけの火災予防7つのルーティン

ひのすけの日常には、火災を防ぐためのヒントがいっぱい詰まっています。皆さんもぜひ参考にしてみてください。



ルーティン1

コンセントにたまるホコリを掃除

差しっぱなしのコンセントと電源プラグの間にはホコリがたまりがち。火災の原因になるので定期的に掃除を。

ルーティン2

住宅用火災警報器の定期点検

住宅用火災警報器がちゃんと動くかどうか、半年に1回はチェック。いざというとき、動かなかったら大変!

ルーティン3

友達にも火災予防を呼び掛ける

「住宅用火災警報器付けてる?」「火事には気を付けないとね」など、友達に会ったときにお話しています。

ルーティン4
仏壇の火の取り扱い

仏壇でろうそくや線香を使ったときは、火を付けたままその場を離れないようにしています。

ルーティン5

調理中はガスコンロから目を離さない

コンロから離れる時は、いったん火を消してから。天ぷらは特に注意が必要です。

ルーティン6

防災カーテンやエプロンを選ぶ

万が一に備えて、身の回りのものを防災品にすることで、火災の被害を軽減することができます。

ルーティン7

ストーブの周りに物を置かない

ストーブの上で洗濯物を乾かすのは絶対にダメ。洗濯物が落下して火事になる場合があります。

ひのすけの年間の活動

火災予防を呼び掛ける活動をしているよ! 見掛けたら声をかけてね。

2月

防火豆まき

1年間の安全を祈る豆まき



3月

防火パレード

ひのすけもノリノリでパレードに参加



7月

防火七夕、花火

正しい花火の楽しみ方を教えるよ



9~10月

イベントで火災予防をPR

皆さんとの交流が楽しい



11~12月

防火もちつき

火災予防の気持ちを込めた餅つき



12月末

年末特別警戒

冬は特に火災に注意!



安芸高田市消防本部・安芸高田消防署 ☎42-0119・お太助フォン 42-3952 📠47-1191



安芸高田 歴史紀行

あきたかた
れきしきこう

シリーズお城拝見 | 第94回

北就勝と北の城

(美土里町北)



歴史民俗博物館 副館長 秋本 哲治



D 陣ガ丸

E 下郷城

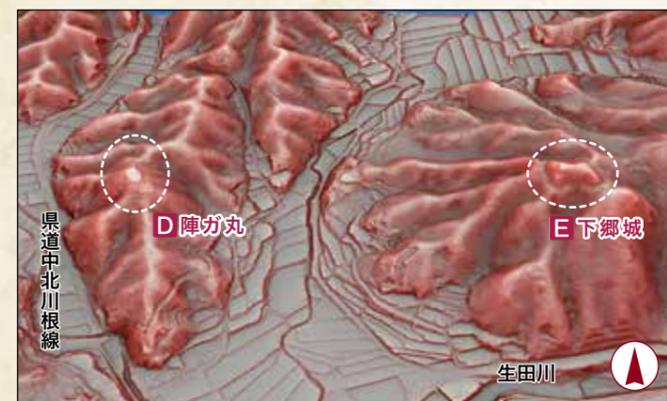
陣ガ丸、下郷城遠望(南から撮影)



北周辺城跡位置図(地理院地図に加筆)

北と就勝
戦国時代始め、北は高橋氏の一族北氏の本拠でしたが、1530年ごろに大内方として毛利元就が北を支配下に置きました。そして元就の異母弟就勝が北氏を相続し、「北就勝」と名乗ります。その後、一時出雲の尼子氏が「北の城」を占拠し、毛利氏との係争地となっています。就勝は1544年における元春(後に吉川氏)を養子に迎え、北の所領はその後元春が継承しています。

2024年12月号では毛利元就の異母弟であった相合元綱に触れましたが、もう一人の異母弟である就勝のゆかりの地が美土里町の北です。今回は新発見2か所を含む、北地区の城跡を紹介いたします。



県道中北川根線

D 陣ガ丸

E 下郷城

生田川

中北周辺赤色立体地図鳥瞰図

北の城跡
東西に生田川が貫く北地区の城跡はこれまでA桜尾城、B小城、C山田城の3か所が知られています。北の中心を見下ろすAは最大規模の城で、BはAの出城のような立地です。一方、Cは谷の奥に隠れたような立地ですが、多数の堀切など防御に特化した特異な遺構が残ります。城主などの伝承はいずれも不確かで、詳細は不明です。

新たに確認した城跡

今回航空レーザー測量図の読み込みと現地調査により、2か所の城跡「陣ガ丸」と「E(仮)下郷城」を確認しました。

Dは県道中北川根線から山田への分岐点脇の丘陵上にあり、頂上の主郭(平たん地)を中心に南北に堀切が残り、その位置から江戸時代の記録や絵図にある「陣ガ丸」がこれに当たると考えられます。EはDから500m東の細長い山上にあり、周囲は高く鋭い切岸(壁面)となっています。



陣ガ丸堀切の急斜面(東側から撮影)